

## 不審電話情報

提供情報は一部表現を変えている箇所があります。

### 01月31日付 大分県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

#### 【概要】

平成23年1月31日、午前中に別府市在住の高齢者（女性）宅に、「支払する額が発生しており、案内を以前に送っているが、まだ処理ができていないので、そのお金を振り込む口座を教えてください。」と電話がありました。

この電話を受けた高齢者は、「支払いがある場合の口座の届け出はすべてしているが、お宅はどちら様ですか。」と尋ねたところ電話が切れた。

不審に思った高齢者は、別府市役所に電話をかけ、本事案が判明したもの。なお、この方は後期高齢者医療被保険者ですが、電話の相手が名のった肩書きや支払う対象については、はっきり覚えてはいないとのことでした。

また、同日午後、同じく別府市在住の高齢者（女性）宅に、「5年間の医療費の還付が23,662円あります。名前と生年月日を教えてください。」という内容の電話がありました。電話をかけてきた人物が携帯電話から電話しているということを言ったので、大事な話を携帯電話からかけるのかと不審に思い、「そちらはどちら様になりますか。」と尋ねたところ相手に切られたとのこと。

本事案も、不審に思った高齢者が別府市役所に電話をかけ、判明したもの。なお、市役所に電話をかけてきた方（女性）については特定できていませんが、「一人暮らしの高齢者で怖くなった」という内容から後期高齢者医療被保険者に該当する可能性があると思われます。

### 01月28日付 山口県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

#### 【概要】

平成23年1月28日（金）、防府市の高齢者に「医療費の還付金42,000円があるので口座番号を教えてください。キャッシュカードを持っているか。通帳の残高の下一桁を教えてください。後日改めて通知する。」などと電話があった。電話

を受けた高齢者は、不審に思い、また、直近に送付された公的年金の源泉徴収票との関連について気にかかり、防府市保険年金課を訪れた。同課担当者は、そのような事実はないことを伝えた。

## 01 月 25 日付 山口県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成23年1月25日（火）、周南市の高齢者に山口県後期高齢者医療広域連合の職員を騙る男性から「高額療養費とは別の医療費還付金があるので口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。電話を受けた高齢者は不審に思い、山口県後期高齢者医療広域連合事務局に確認の電話をかけてこられたので、同事務局担当者よりそのような事実はないことを伝えた。

類似事件防止のため、警察への通報を同事務局担当者より被保険者へ促した。

## 01 月 25 日付 山口県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成 23 年 1 月 24 日（月）付け毎日新聞朝刊に掲載された記事より「独居女性が 200 万円をだまし取られる」の新聞記事提供がありました。（新聞記事については掲載省略）

## 01 月 25 日付 京都府後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成 23 年 1 月 21 日午後、厚生労働省職員の青木と名乗る男性から宇治市内の被保険者（84 歳女性）宅に電話があり、本人が対応した。「医療費が4万円ほど返ってくるが、以前に送付した書類を見てくれましたか。」と問われ、「送られていない。」と答えると、「再度、2月に書類を送付するので、娘さん達とご覧になってください。」と言われた。

その際、生年月日、名前、取引銀行名も聞かれたため答えたが、電話を切った

後に不審に思い、同日、市担当課に連絡し本件が発覚した。

## 01月24日付 山口県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成23年1月24日（月）防府市の高齢者に2件の不審電話があった。

- ① 厚生労働省の職員を騙る男性から「保険料の還付金があるので申請書類を送ります。」と電話があった。同高齢者には、昨年も「口座番号を教えて欲しい。」という同様な不審電話があった。
- ② 厚生労働省社会年金課の職員を名乗る男性から「特別医療補助給付金42,000円を支払うので、口座番号を教えて欲しい。」と電話があった。

電話を受けた高齢者は、いずれも不審に思い、防府市保険年金課に確認の電話をかけ、同課担当者よりそのような事実はないことを確認した。

類似事件防止のため、警察への通報を防府市保険年金課より被保険者へ促した。

## 01月18日付 三重県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成23年1月19日（水）午前10時頃、三重県津市在住の被保険者（86歳）宅へ厚労省の小林と名乗る者から「医療費の還付が49,000円くらいある。昨年の4月に連絡をしたが回答がないため振り込めないでいる。振込先を教えてください。」との電話がありました。

医療費の還付は市からあると思っていた被保険者が不審に思い市に確認すると伝えると、相手側は連絡先を伝え電話を切りました。（電話番号はメモしていない）その後、被保険者が市役所担当課に電話をしたことにより本件が発覚しました。

## 01月18日付 三重県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成23年1月15日（土）付け伊勢新聞に掲載された記事より「振り込め詐

欺に注意」の新聞記事提供がありました。（新聞記事については掲載省略）

## 01月17日付 東京都後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成22年12月28日（月）、東京都内の被保険者宅を、区役所から来たという60歳代後半くらいの男が訪問した。男は「24,000円の所得税を支払えば1,456,000円の福祉年金が戻ってくるので手続きをしてください。」と言った。そのときは信用していたので支払おうと思ったが、手持ち金がないことを伝えると、「6月10日の11時にまた来ます。所得税を預かったら20日にお金が入ります。」と言い、帰って行った。

男が帰ったあとに、よく考えたら怖くなり区役所に電話をした。本人に被害は無い。区ではそのような事実は無いことを伝え、次回訪問や電話があったときは区に連絡するように本人に伝えた。

## 01月13日付 福岡県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成22年12月27日（月）、福岡市内の被保険者（女性79歳）宅へ厚生労働省高齢者支援課の新庄と名乗る男性より電話があった。高額療養費が発生しているので申請書を送付したが、まだ返送されていないので電話したとのこと。

そんな書類は届いていないと答えると、では口座の情報を（教えてほしい）と言われ、銀行名と支店名を答えた（口座番号はいいと言われたので告げていない）。

その後、何の音沙汰もないので、告げられた電話番号（0120-122-795）に電話してみたが、通じなかった。

広域連合では、行政機関がこのような電話は行っていない旨説明し、口座を確認するように伝えた。

## 01月13日付 三重県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

## 【概要】

平成 23 年 1 月 12 日頃、桑名市内の被保険者（男性 75 歳）宅へ厚生労働省の高齢者支援課の木下と名乗る男性から「全国で 3,000 人が該当となりますが、医療費を 10 万円以上支払っている人に還付金が発生しています。47,500 円を振り込むので、今からキャッシュカードを持って銀行へ出向いてください。」との電話がありました。また、相手の連絡先としてフリーダイヤルの番号（厚生労働省とは無関係）を伝えられたそうです。

ご夫婦で話し合われたところ、病院にかかっていないのに国からお金が戻ってくるのはおかしいと不審に思い、市役所へ来庁し報告したことでこの事例が判明しました。

広域連合で還付金の有無を確認したところ、当概被保険者に係る還付金はありませんでした。

## 01 月 05 日付 宮崎県後期高齢者医療広域連合からの情報提供

### 【概要】

平成 22 年 12 月 20 日（月）、厚生労働省の「ヤマサキ」と名乗る者から宮崎市内の被保険者宅（女性）へ電話があり、「年間の医療費 47,500 円の還付がある。以前に茶色の封筒を送っている。口座番号を教えて欲しい。」との内容であり、フリーダイヤルの番号（0120-122-795）を告げて電話を切ったとのこと。不審に思った被保険者は、口座番号は答えず、市役所に問い合わせをして事案が判明した。

市担当課が、現時点では被保険者への保険料の還付等はないことを伝え、今回の電話が虚偽のものである旨を説明し、今後同様の電話があっても口座番号等を答えないように指導した。また、警察に今回の不審な電話の件を連絡していただくようお願いをした。